

12月10日に実施した表彰式の出席者



身近な生活や心情を自由に表現 ヤング川柳大会の入選者が決定

第29回ヤング川柳大会の表彰式が12月10日、あめんぼセンターでありました。小中高生から過去最多の2833点の応募があり、18点が入賞。入賞者は次のとおりです。(敬称略)【小学校の部】▷最優秀賞＝石橋とも也(矢留6)▷金賞＝目野琉花(垂見5)▷銀賞＝中島千尋(昭代第一5)▷銅賞＝梅崎汐音(蒲池4)【中・高校生の部】▷最優秀賞＝林大翔(三橋1)▷金賞＝シリインナッタティダ(柳川高2)▷銀賞＝古賀壮太(柳城1)▷銅賞＝横山苺花(昭代3)

銀メダルを手に報告する山口さん(左)



サンゼルス五輪での金が目標 柔道グランドスラム東京で準優勝

昨年12月に行われた世界最高峰の国際大会柔道グランドスラム東京2023女子63kg級で、市出身の山口葵良梨さん(22歳、国士館大4年)が準優勝しました。大会ではランキング上位の選手を次々と破り決勝へ。決勝では惜しくも延長で敗れ、銀メダルとなりました。12月28日に金子市長へ報告に訪れた山口さんは「決勝まで進めたのはたくさんの声援のおかげ。今後は実業団へ進み、2028年開催のロス五輪で金メダル獲得が目標です」と意気込みを語りました。



久しぶりのマスクなしでの再会を喜ぶ参加者



身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】企画課広報広聴係 ☎77・8425

若者たちの第一歩を祝福 柳川市二十歳のつどいを開催

20歳の節目を迎えた若者たちの輝かしい門出を祝福する「柳川市二十歳のつどい」が1月7日、市民文化会館で開催されました。会場には平成15年4月2日から16年4月1日までに生まれた519人がきらびやかな振り袖や真新しいスーツで参列。恩師との再会を喜ぶ姿や友人と記念写真を撮る姿が見られました。参加者を代表して古賀あいのさん(柳城中出身)が「二十歳を迎えることができたのは家族や恩師、地域の皆さんの支えのおかげ。これからは社会の一員として自覚を持ち、常に向上心を持ち続け、前進していくことを誓います」と決意を述べました。

雨の中、新のりを求めて長蛇の列ができた



有明海のおいしいのりはいかが 「新のりフェア」と「にぎわいイベント」開催

12月16日、両開漁協主催の第9回新のりフェアが開催されました。有明海で採れた柳川産の新のりを手に入れようと開始から長蛇の列ができていました。開始時間前から並んだという市内の女性は「新のりを食べるのが楽しみ。昨年はのりが採れなかったのが今年は豊作になるといいですね」と話してくれました。当日は柳川むつごろう会主催の第10回にぎわいイベントも同時開催。生のりピザ体験をした子どもたちは生のりがいっぱいピザをおいしそうに食べていました。

最後はみんなで並んでゴール



みんなでつなぐ42.195km 皿垣小学校で地域の駅伝大会開催

12月17日、皿垣小学校で「たすきでつなぐ地域のきずな」が開催されました。校区の小中学生や高校生、地域住民などが6チームに分かれ、全員で42.195kmを走りきる同イベント。走ることを通じて健康と地域のつながりを向上させるために、20年以上前から実施されています。当日は0度近い気温の中、約200人が参加。たすきをつなぎながら6チームが7kmを走りました。参加した児童は「走るのは苦手だったけど、みんなの応援で頑張れた」と笑顔でした。

気になるサンプルの前で立ち止まり細部を確認する親子



私たちの制服どれがいいかな 中学生の新たな標準服サンプルを展示

市は検討委員会を立ち上げ、機能性や性の多様性に配慮した市内中学校標準服の検討を進めています。昨年12月にはメーカーから提示された7つのサンプルを市役所三橋庁舎と市民文化会館で展示。来場者から意見を集めました。母親らと会場を訪れた蒲池小学校4年生の女子児童は「かわいい制服がいい」と真剣な眼差しでスカートのデザインなどを確認していました。市は今後、集まった意見を参考に同委員会で検討を重ね、夏を目途に標準服の仕様を決定する予定です。

ひざの上にボールを置いてゴール近くまで運ぶ生徒



誰もがスポーツで1つに 蒲池中1年生が車いすバスケットを体験

蒲池中学校で12月7日、車いすバスケットの授業がありました。これは同校が久留米市総合型SC桜花台クラブと協力して毎年実施しているものです。1年生52人は、身体障がいや共生スポーツの背景を学んだ後、車いすバスケットを体験。競技用車いすに乗った生徒たちは、ボールをひざの上に置いて進むドリブルや、いつもより低い位置からのシュートに苦戦していました。山下大輝さんは「いろんな人と共生スポーツを楽しみたい」と笑顔で話していました。